「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」

専門科目カリキュラム集

【１年生対象科目】

＊別府に関する基礎的な学びをする

温泉コンシェルジュの基礎
別府の歴史と発展
まちづくりと景観
温泉学
おもてなし演習

【２年生対象科目】

＊専門的な学びと実習を行い、コンシェルジュとして資質・能力を養成する

温泉の基礎
温泉コンシェルジュ　実習
温泉コンシェルジュ実習
温泉医療療養指導
健康トレーニング

授業科目名	必修・選択	単位	学期曜・限	対象者	担当講師名・事務連絡先
温泉コンシェルジュの基礎 foundation for the Spa *Concierge*	選択 ※コンシェルジュ認定者は必修	2	前期	1年	主担当講師：中川忠宣 （大分大学）

【授業のねらい】

サービスの専門家（「総合世話係」）としてのコンシェルジュは様々な分野で存在し、特に、温泉観光や温泉での健康を提供する地域においては、温泉に関する各種法律や実際の効果・効能に関する知識、おもてなしの資質を備えた「温泉コンシェルジュ」が求められています。

本授業は、温泉コンシェルジュとしての資質・能力、顧客の相談へのプログラム提供、顧客へのおもてなしの心と作法など、顧客への総合的なサービスを提供できる人材を育成するものであり、別府という地域を想定しながら、別府温泉コンシェルジュに必要なものが何なのかを幅広く学び、「温泉コンシェルジュ」の養成の趣旨を総合的に学びます。

【具体的な到達目標】

1．知識・理解

①（別府）温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を理解し、説明できる。（A-⑤）

②別府の魅力・特色を知り、顧客の求めるプログラムを作成しようとする。（B-①・B-②）

2．習得する資質・能力等

①他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようと心がけることできる。（C-①・C-③)

②顧客や職場等の考えを理解し、多様な価値観を受容しようとすることができる。（C-②・C-④）

【授業の内容】	講　師
1．温泉コンシェルジュに求められるものを学ぶ。（1時限～11時限） 1）コンシェルジュに必要なもの（1時限～6時限） ＊コンシェルジュに求められるもの＊ビジネスマナー ＊コンシェルジュのネットワーク 2）（別府）温泉コンシェルジュに必要なもの（7時限～11時限） ＊コンシェルジュが説明する別府の特色 ＊コンシェルジュが説明する別府温泉の特色 2．顧客へのプログラムの提案演習（12時限～15時限） 1）温泉コンシェルジュの魅力をＰＲ（12時限～13時限） 2）温泉コンシェルジュが発信する別府の魅力（14時限～15時限）	中川忠宣 鶴田浩一郎 恒松栖 谷川真奈美 別府市観光協会

【時間外学習】

○15時間以外に、温泉や別府観光に関する資料を収集したりファイル化したりすることが必要です。

【教科書】

○特定の教科書は使用しませんが、各講師が授業ごとに資料を配付します。最終的にはその資料からのテストの出題をします。また、グループ演習での作品製作も行います。

【成績評価の方法と評価割合】

①授業での知識：ペーパーテスト：L1:60点～/L2：70点～/L3:80点～/L4:90点～/L5:95点～

②授業時の課題対応：ミニレポートや学習課題への対応：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

③専門性：関係者での模擬接遇：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

④責任感や積極性等の授業中の態度：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

【注意事項】

○別府温泉コンシェルジュに求められるトータルを学ぶ授業ですので、欠席すると別府温泉コンシェルジュと他の授業との関係が不明確になります。特別な理由以外の欠席は全て減点します。遅刻も減点対象です。

○万一、不慮の場合で欠席した場合は、必ずその授業の補填をしていただきます。

※欠席1回につき3点の減点（3回目の欠席は4点の減点）

②授業の実施日時に関する注意事項

○「温泉コンシェルジュの基礎」と連携した授業ですので、事業実施日に注意をしてください。

授業内容

具 体 的 な 授 業 計 画	授 業 者
１．温泉コンシェルジュに求められるものを学ぶ。（１時限～10時限） １つの窓口でこと足りるサービス体系として『コンシェルジュ・サービス』という呼び方もされており、温泉をベースにした旅行者や健康・癒やしを求める相談者など（以下、「顧客」という。）への窓口において、どんな相談に対しても、豊富な知識に基づいて、顧客に合った提案・サービスをおこなう温泉コンシェルジュは、顧客への温泉に関する「総合世話係」です。そのための接遇の基本や温泉の効果・効能に関すること、「泉都」とも呼ばれる別府ならではの温泉資源を活用した観光等の取り組みの概要を学びます。	
１）コンシェルジュに必要なもの（１時限～６時限） コンシェルジュとは何か、コンシェルジュに必要な豊富な知識は何かなど、コンシェルジュの定義に基づいて提案・サービスを行う制度や職域についての基礎的な事項を学びます。	
① 授業ガイダンス 「温泉コンシェルジュコース」の学びの概要と授業計画を説明し、温泉コンシェルジュコースの全体像を理解する。 **＜15時間の授業概要＞**シラバスの説明、講義と演習と学習資料作成、最終プレゼンと模擬接遇 **＜10専門科目の概要＞**「温泉コンシェルジュコース」全体の説明、専門科目の説明、授業計画の説明	中川忠宣
② 「総合世話係」とは サービスをする専門家として業務を学ぶ。 **＜顧客への基本サービス＞**顧客の旅のトラブルを解決して正しく次の目的や目標の場所に導くお手伝い、そのための接客マナーなど、コンシェルジュが顧客に対する基本的なサービス内容に関すること **＜個人に応じたサービス＞**顧客一人ひとりに応じたきめ細かいサービス提供、リピーターを意識したサービス提供など **＜究極のパーソナルサービス＞**顧客の要求に応じた地理案内や航空券・観劇の切符の手配、道案内やレストランの紹介、病気の時なケア、人探しや物探しなど	中川忠宣
③④⑤コンシェルジュに求められるもの 知識や人脈を駆使して要望に応えようとする思いやりと暖かさをもってお迎えする心と態度を学ぶ。 ＊資質・能力として求められるものを講義で学び、その育成のためにグループ演習や接客の実際を行う。 **＜接遇と言葉づかい＞**何事にも冷静に対応し、どんな人とでも心からコミュニケーションをとろうとする姿勢やコミュニケーションツールとしの言語の使いこなし **＜求められる知識や能力＞**顧客の相談に対応するために必要な知識・判断力・行動力・向上心・自己開発力、問題解決力など **＜ビジネスマナー＞**職業人としての顧客へのサービスマナー ＊立居振舞、身だしなみ、思いやる心と動き、美しい言葉づかいなど	谷川真奈美

⑥コンシェルジュのネットワーク コンシェルジュ相互の幅広いネットワークの効果や必要性を学ぶ。 **＜コンシェルジュの種類＞**地域に存在するソムリエ等も含む総合案内係の現状、コンシェルジュの職務内容 **＜ネットワークの意義＞**幅広い情報や取引先と良い関係、コンシェルジュ同士がホテルや企業の枠を超えてネットワークを組織する等の大切さ、別府におけるネットワークの現状	鶴田浩一郎
２）（別府）温泉コンシェルジュに必要なもの（７時限～11時限） 温泉の実際の効果・効能に関することや、「泉都」とも呼ばれる別府ならではの温泉資源を活用した観光を基幹産業とした別府ならではの取り組みや特色の概要を学びます。	
⑦⑧別府温泉の概要 「昔話」や「逸話」、歴史上の人物等のから、温泉コンシェルジュが説明する歴史や発展の特色資料を作成する。 ＊「別府の発展と歴史」の授業で学んだ①別府を豊かにした自然②別府に関わった人物③別府が生み出した文化④別府を発展させた産業に関する資料等を基にして、グループ毎のテーマを設定して、別府の特色をＰＲするための資料（冊子）を作成する。	恒松　栖
⑨⑩⑪別府温泉の特色めぐり（別府温泉の特色とスポット散策） 別府八湯をベースにして作成した「温泉ガイドマップ」の沿って、コンシェルジュとして紹介したい各種施設等を見学する。その後「「温泉ガイドマップ」は他の授業での学びを通して加除修正をしながら「温泉コンシェルジュコース」修了時に完成させる。 ＊別府駅周辺のまちあるき体験 ＊鉄輪温泉街のまちあるき体験 ＊別府八湯温泉	別府市観光協会
２．顧客へのプログラムの提案演習（12時限～15時限） 別府温泉をベースにした最高の癒しを提供できる温泉コンシェルジュとしての総合的なおもてなしを提供するために必要な知識や資質を整理します。	
１）温泉コンシェルジュの魅力をＰＲ（12時限～13時限） 授業のまとめとして、温泉コンシェルジュの存在や必要性をＰＲする資料を作成するために「温泉コンシェルジュ役割」という視点から整理し、「魅力」をアピールするプレゼンを作成します。	中川忠宣
⑫⑬温泉コンシェルジュの魅力発信 「温泉コンシェルジュ」に求められるものと、温泉コンシェルジュの魅力（必要性）に関する学習のまとめをする。 ＜温泉コンシェルジュの役割＞温泉に関する「総合世話係」、必要な知識・資質・能力、接遇する態度など ＜温泉コンシェルジュの魅力＞温泉コンシェルジュが提供できるものと顧客のニーズへの最高のおもてなし ＊模擬接遇を想定して、顧客へ魅力を発信するためのプログラム作成と、口頭でプ	

ログラム提案をする準備をする。 **２）温泉コンシェルジュが発信する別府の魅力（14時限～15時限）** 「温泉コンシェルジュに必要なもの」で作成した資料を基にして、温泉コンシェルジュとして顧客に提供（アピール）したい１つのプログラムを作成します。 **⑭⑮温泉コンシェルジュが発信する別府の魅力** 別府温泉の魅力を整理し、魅力体験プログラムを発信する。 **＜別府の魅力探し＞**温泉をテーマにした「私が薦める別府の魅力」探し **＜別府の魅力発信＞**最高の癒しを提供できる魅力的なプログラム作成（ポスター作成や説明用のプレゼン作成）とプログラム発信、 ＊模擬接遇を想定して、顧客へ魅力を発信するためのプログラム作成と、口頭でプログラム提案をする準備をする。	中川忠宣
【資料】 **１．温泉コンシェルジュとして必須の学習内容** １）コンシェルジュとしての資質・能力・基礎知識の習得 ①温泉コンシェルジュに求められるものを学ぶ ②顧客の国の言葉を学ぶ ③思いやりの心とマナーを学ぶ ④体験を通して「温泉コンシェルジュの資質」を学ぶ ２）別府に関する基礎知識の習得 ①別府を学ぶ（歴史・人・文化・自然） ②別府の街づくりを学ぶ ３）温泉の利用に関する学び ①温泉を学ぶ ②温泉と産業を学ぶ ③温泉と健康・医療を学ぶ ４）温泉と健康・医療に関する学び ①別府温泉と健康・医療の取り組みを学ぶ ②別府で学ぶ健康づくり ５）別府温泉と観光の街づくりに関する学び ①別府で学ぶ温泉の基礎 ②街づくり体験を通して「別府温泉コンシェルジュの資質」を学ぶ ③別府からの情報発信を学ぶ **２．上級の温泉コンシェルジュとして習得すべき資質・能力** ①介護技術を学ぶ ②食と健康を学ぶ ③コミュニケーション能力を学ぶ ④日本語を学ぶ	

授業科目名	必修・選択	単位	学期曜・限	対象者	担当講師名
別府の発展と歴史	選択 ※コンシェルジュ認定者は必修	2	金・４限	１年	主担講師：恒松　栖 （地域歴史研究家）

【授業のねらい】

別府の発展の1つの視点として、「別府温泉」を学んだ最高のおもてなしを総合的に提供できるコンシェルジュが、様々なポジションに存在することが求められ、別府（地域）を知ることが基盤となります。

そのために、別府の歴史を紐解きながら①別府を豊かにした自然②別府に関わった人物③別府が生み出した文化④別府を発展させた産業という視点から、別府にかかわる一定の基礎的な知識を学び、別府の街づくりや特色ある産業について理解し、泉都別府を説明・案内ができる基礎力を身につけます。

【具体的な到達目標】

１．知識・理解

①別府の発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の４つ視点から説明できる。（Ａ－①）

②別府の発展のポイントを、歴史の視点と周辺地域との連携という視点から説明できる。（Ａ－①）

２．習得する資質・能力等

①取得した情報を基にして、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。（Ｂ－②）

②情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現（説明）できる。（Ｂ－③）

【授業の内容】	講　師
１．別府の発展の歴史を探る。（１時限～13時限） １）別府を豊かにした自然を探る（１時限～３時限） ＊別府の自然と八湯と地下資源 ２）別府に関わった人物を探る（４時限～５時限） ＊別府に訪れた人物と発展に寄与した人物 ３）別府が生み出した文化を探る（６時限～８時限） ＊遺跡・文化財から現代の教育まで ４）別府を発展させた産業を探る（９時限～13時限） ＊交通・商店街・竹製品・温泉産業まで ２．これからの別府の発展のポイントを考える。（14時限～15時限） ＊別府の歴史及び周辺地域との連携の視点から	恒松　栖 溝部　仁 中川忠宣

【時間外学習】

○15時間以外に、①別府を豊かにした自然②別府に関わった人物③別府が生み出した文化④別府を発展させた産業ごとに、授業中の資料や別府市の観光資料等を参考してファイル化したりすることが必要です。

【教科書】

○特定の教科書は使用しませんが、各講師が授業ごとに資料を配付します。最終的にはその資料からのテストの出題をします。また、実習的な調査活動も行います。

【成績評価の方法と評価割合】

①授業での知識：ペーパーテスト（4題）：L1:60点～/L2：70点～/L3:80点～/L4:90点～/L5:95点～

②授業時の課題対応：ミニレポートや学習課題への対応：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

③適性：関係者での模擬接遇：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

④責任感や積極性等の授業中の態度：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

【注意事項】

①授業への参加度に関する注意事項

○別府温泉コンシェルジュに求められる別府の発展の基礎を学ぶ授業ですので、欠席すると他の授業への理解度が下がりますので、特別な理由以外の欠席は全て減点します。遅刻も減点対象です。

※欠席１回につき３点の減点（３回目の欠席は４点の減点）

○万一、不慮の場合で欠席した場合は、必ずその授業の補填をしていただきます。

②授業の実施日時に関する注意事項

○「温泉コンシェルジュの基礎」と連携した授業ですので、授業実施日に注意をしてください。

授業内容

具　体　的　な　授　業　計画	授　業　者
１．別府の発展の歴史を探る。（１時限～13時限） 別府の歴史を探るために①別府を豊かにした自然②別府に関わった人物③別府が生み出した文化④別府を発展させた産業の４つの視点から、現地調査も含めて自らの目で確かめながら学びます。さらに、別府の街づくりや特色ある産業について理解し国際観光温泉文化都市別府の特色を説明・案内ができる資料を整理します。	
１）別府を豊かにした自然を探る（１時限～３時限） 別府の産業・文化を育んできた豊かな自然について学びます。	
①別府の自然 日本最大の温泉都市別府を取り巻く自然環境・自然の成り立ち等を学ぶ。 **＜別府の位置＞**別府を取り巻く町や村、人々の往来から見た位置、行政区から見た位置、西日本の観光地から見た位置等 **＜別府の地形の成り立ち＞**別府を取り巻く山々、石垣扇状地形の成り立ち、別府の主要な河川、別府の高原・丘陵地、別府の地溝帯や断層線 **＜別府の気象＞**別府の恵まれた気象条件，別府温泉と気象、自然災害・地震や津波	恒松　栖
②別府八湯温泉 別府八湯温泉の発達とそれぞれの特色を学ぶ。 **＜温泉場の発展と特色＞**浜脇温泉、別府温泉、亀川温泉，柴石温泉、鉄輪温泉、明礬温泉、堀田温泉、観海寺温泉 **＜別府八湯の周辺及び隙間の温泉場＞**上人・北石垣・南石垣・荘園・山の手・小倉・湯山・城島　等	恒松　栖
③別府の地下資源 別府地区の地下資源の鉱物及び温泉資源等を学ぶ **＜別府の鉱産物＞**硫黄の発掘、金・銀鉱（別府金山）・(柴石金山)、珪酸白土の採掘地獄（温泉熱）利用・・明礬の製造（鶴見七湯廼記)、湯の花の製造（湯の花組合の成立）渡辺五郎右衛門、脇屋諦則	恒松　栖
２）別府に関わった人物を探る（４時限～５時限） 温泉を中心とした健康や癒やし、別府の発展に関わった人物について学びます。	溝部　仁
④別府を訪れた人々 古くから多く文人墨客が訪れ紀行文や小説等を残してきた歴史を学ぶ。 **＜別府紀行＞**貝原益軒「豊国紀行」・古川古松軒「西遊雑記」・、脇蘭室「かん海漁談」・伊能忠敬「測量日記」 **＜文人墨客＞**広瀬淡窓、竹久夢二、土屋文明、斉藤茂吉、徳富蘆花、白蓮、夏目漱石、菊池幽芳、森有礼、	
⑤油屋熊八・梅田凡平氏らの業績 別府観光の草分け的存在の人物と業績を学ぶ。 **＜亀の井バスの設立＞**市内地獄めぐり遊覧コースの設立、バスガイド付案内 **＜観光宣伝＞**富士山山頂に別府宣伝標柱の設置、亀の井ホテルの設立	

３）別府が生み出した文化を探る（６時限～８時限） 別府の歴史の中で生まれ、育まれてきた文化と教育の変遷について学びます。	
⑥別府の古い時代の遺跡と文化財 別府地区を取り巻く周辺部の遺跡や古い時代の温泉遺跡、有形・無形文化財等の概要から別府の文化の特色を見る。 **＜周知の埋蔵文化財＞**十文字原遺跡群、国宝鬼の岩屋古墳、春木古代遺跡公園 **＜豊後風土記＞**赤湯の泉、玖倍理湯の井、河直山などの地名と古代からの地獄（温泉）の存在 **＜別府の発展＞**古代集落の広がり、荘園時代の「別府」の地名、横灘 48 村 **＜石垣原の合戦＞**関ヶ原の戦いの前哨戦としての石垣原の合戦、大友氏と黒田氏 **＜文化財＞**有形文化財（建造物・絵画・典籍・工芸品・古文書・考古資料、史跡)、無形文化財、名勝、天然記念物、保護樹 **＜無形民俗文化財・文化的景観＞**別府明礬温泉湯の花製造技術、別府の湯けむり・温泉地景観、浜脇薬師祭り見立て細工	恒松　栖
⑦別府市美術館・別府市立図書館 別府市美術館の設立のきっかけと収蔵絵画等の関わり及び企画展の所蔵作品、郷土資料を収蔵する図書館を学ぶ。 **＜別府市美術館の変遷＞**佐藤慶太郎，脇鉄一市長、別府市公会堂敷設美術館、別府市中央公民館内美術館、上人ケ浜美術館 **＜所蔵美術品＞**文化勲章受章者作品、日本画・洋画・彫刻・書跡・工芸品、漫画 **＜企画展の所蔵＞**別府現代絵画展、別府アジア絵画展、別府アジアビエンナーレ絵画 **＜文化財・歴史資料＞**石造建築物、民族民具資料・竹産関係資料、温泉資料 **＜別府市立図書館＞**閲覧・貸出・調査・相談活動、蔵書数２２万冊以上	恒松　栖 恒松　栖
⑧別府の教育機関 別府における幼・小・中・高・大学の創立と現況、特色ある教育について学ぶ。 **＜幼稚園教育＞**私立幼稚園の設置・公立幼稚園の設置、保育年限の延長、幼保連携 **＜小学校・中学校教育＞**学校の変遷（新設・統廃合)、特色ある学校、私立小中学校 **＜高等学校教育＞**県立・市立高等学校、私立高等学校 **＜特色ある大学教育＞**別府大学・別府大学短期大学部、別府溝部短期大学，ＡＵＰアジア太平洋大学 **＜業績を残した先覚者＞**大岳楼の設立，後藤柏園、矢田希一、兼子鎮雄（高等教育)、河野三五郎（算術教育)、佐藤義詮、溝部ミツエ	
４）別府を発展させた産業を探る（９時限～13時限） 陸と海を結ぶ要所として、豊富な温泉による観光地としての発展について学びます。	
⑨別府の交通体系 別府が温泉都市として発展と交通機関の発達･整備された交通網について学びます。 **＜別府の古い道＞**豊前への道、府内への道、玖珠・日田への道、花棚道、十文字原一軒家	恒松　栖

＜**瀬戸内海交通**＞関西への道、中国・四国への道、九州沿岸への道 ＜**鉄道交通**＞日豊本線の開通、別大電車の開通、ケーブル楽天地の開園 ＜**陸上交通網の発達**＞やまなみハイウェイ、九州横断自動車道、国道・県道・市道等の交通網 ＜**航空交通**＞大分空港の開港、遊覧飛行の設立	
⑩温泉と街並みの発展 別府の中心街の発展と温泉湧出分布とのかかわりや海岸埋立造成について学ぶ。 ＜**自然湧出泉**＞共同浴場と街並みの発展、江戸時代の温泉、明治時代の温泉，今日の温泉湧出 ＜**人工掘削泉**＞上総掘りによる温泉孔数、全国の温泉湧出数分布、世界の温泉分布 ＜**石垣原扇状地と温泉**＞扇状地の南と北の温泉湧出地，温泉の給湯事業	恒松　栖 恒松　栖
⑪別府の商店街 別府の中心地の商店街の発達と人々の流れやホテル街の発達、大型商業施設を学ぶ。 ＜**古い６つの商店街の発達**＞駅前通り商店街，弥生町商店街、銀座街商店街、流川通り商店街、中浜筋商店街、楠商店街 ＜**市街地周辺地の商店街**＞亀川中央町商店街、鉄輪旅館街商店街、道路沿線商業施設 ＜**大型商業施設の出現**＞デパート、チエン・系列商業施設	恒松　栖
⑫竹細工・つげ細工・お土産品 別府地区の特産品の竹材工とつげ細工の発展・別府のお土産品の数々を学ぶ。 ＜**竹細工**＞別府徒弟学校竹籃科の成立、竹細工の製品、竹林の分布、生産高 ＜**つげ細工**＞つげ細工の発祥、「アカカベ洋品店」、つげ細工の製品 ＜**お土産品**＞入浴剤・竹細工・つげ細工・菓子類	
⑬温泉利用の産業 温泉の利用方法と産業への活用、地熱発電への利用について学ぶ。 ＜**温泉利用**＞浴用（健康）、地獄蒸し料理、暖房施設（室内暖房施設）、地熱発電の歴史、地熱発電、山内男爵、高橋廉一、九州電力八丁原発電所、杉の井ホテル発電所 ＜**農業への活用**＞温泉熱利用農業研究所や花木栽培、野菜・花卉促進栽培	恒松　栖
２．これからの別府の発展のポイントを考える。（14時限～15時限） 別府を取り巻く観光地等との連携・協働という視点から今後の発展のポイントを学びます。	
⑭別府の特色の整理 別府発展の変遷を振り返って、４つの視点から別府の特色を整理する。	恒松　栖 中川忠宣
⑮別府を取り巻く観光地・史蹟・名勝・社寺名刹・産業 別府周辺の観光地等との連携による、今後の別府の発展のポイントを探る。 ＜**県内の観光地**＞国東半島の仏教文化、城下町の杵築・中津・臼杵・佐伯・竹田 ＜**隣接する観光地の名勝や名跡**＞由布川渓谷、湯布院、日出、大分市 ＜**神社・仏閣**＞宇佐八幡神宮、朝見神社、竈門八幡社、市内および周辺部の仏閣 ＜**産業**＞国東地域等の世界農業遺産や周辺の農産物・海産物	

授業科目名	必須・選択	単位	学期曜・限	対象者	担当講師名（所属）
まちづくりと景観	選択 ※コンシェルジュ認定者は必修	2	夏季休業 集中講義	1年	主担講師：姫野 由香 （大分大学）

【授業のねらい】

コンシェルジュには、求められる情報を的確に伝えられる能力が求められます。さらに、提供する情報は、標準的な情報に各コンシェルジュの個性が反映されることにより、一層魅力的なものとなります。そのためには、コンシェルジュ自身が、紹介しようとする「地域」の特性をよく理解しておくことがとても大切です。その結果、単なる観光情報を超えた満足度の高い情報を提供することが可能になります。

本授業では、まず「地域」を理解する上で重要となる着眼点を整理します。さらに、別府という地域の特性を「まちづくり」と「景観」の傾向から理解し、地域の情報のストック方法を学びます。

【具体的な到達目標】

1．知識・理解

①コンシェルジュとして紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。(A-②)

②紹介しようとする地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。(A-②)

2．習得する資質・能力等

①顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 (B-③・B-⑥)

②情報を顧客のニーズに応えながら提供する能力を身に付ける。 (C-①・C-②)

③別府の街づくりや特色ある産業について他の地域と比較するなどして、特色を説明できる。 (B-④)

【授業の内容】	講　師
1．「地域とは・都市とは」について学ぶ。（1時限～3時限） 1）地域・都市の誕生と定義（1時限） 2）地域・都市計画の機能と役割（2時限） 3）別府の地域・都市計画の特徴（3時限） 2．「まちづくりとは」について学ぶ。（4時限～6時限） 1）まちづくりの定義と各地のまちづくり（4時限） 2）別府のまちづくりの特徴（5時限） 3）特定エリアを再生するまちづくりの要件（6時限） 3．観光資源としての景観について学ぶ。（7時限～10時限） 1）別府の地域資源や産業の特徴と景観の関係（7時限～8時限） 2）別府の景観の特徴（9時限～10時限） 4．おすすめ風景カルテの作成と活用について学ぶ。（11時限～15時限） 1）おすすめ風景カルテの作成方法の検討と作成（11時限～13時限） 2）カルテを用いた情報提供の実践（14時限～15時限）	姫野 由香

【時間外学習】

○各自で行うフィールドサーベイや作業があり、その調査報告書を作成することが必要になる場合もあります。

【教科書】

○特にありませんが、配布資料や作成資料のスクラップは、今後のコンシェルジュとしての活動を助ける資料となります。

【成績評価の方法と評価割合】

①知識：60%：ミニテストとカルテの完成度：L1:60点～/L2：70点～/L3:80点～/L4:90点～/L5:95点～

②問題解決力：10%：カルテの改善提案やオリジナリティ：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

③専門性：30%：カルテを利用した模擬接遇：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

【注意事項】

○カルテを作成するために、パーソナルコンピュータ（PC）の操作ができ、ノート型PCを持参できることが望ましい。

授業内容

具体的な授業計画	授業者
１．「地域とは・都市とは」について学ぶ（１時限～３時限） コンシェルジュとして紹介する地域について熟知することは、観光情報を超えた満足度の高い情報を提供することにつながります。地域を理解するための基本を学びます。 **１）地域・都市の誕生と定義（1時限）** コンシェルジュとして紹介する対象となる「地域」や「都市」に関する基礎的な知識を、人類の歴史をとおして学びます。 **①　「地域」や「都市」の概要** **＜授業ガイダンス＞**15時間の授業概要（シラバス）の説明 **＜「地域」や「都市」＞**「地域」や「都市」の関する基礎的な知識を学ぶ。 **２）地域・都市計画の機能と役割（2時限）** **②地域・都市計画** 地域や都市を形成してきた「計画」の誕生の経緯と全国的な動向を学ぶ。 **３）別府の地域・都市計画の特徴（3時限）** **③別府の特徴** 全国的な計画から地域固有の計画を例にとりあげ、別府における地域・都市計画の特性を学ぶ **２．「まちづくりとは」について学ぶ。（４時限～６時限）** 様々な都市でまちづくりが進められています。各地の事例をとおして、まちづくりの定義を理解し、別府のまちづくりについても学びます。 **１）まちづくりの定義と各地のまちづくり** **④まちづくりに大切な三つの要素** 各地の事例をとおして、まちづくりに大切な三つの要素について理解し、まちづくりとは何かを学ぶ。 **２）別府のまちづくりの特徴** **⑤別府型まちづくりの特徴** 複数の事例をとおして別府のまちづくりの特徴を学ぶ。 **３）特定エリアを再生するまちづくりの要件** **⑥特定エリアの再生** 再生を目指したまちづくりを行う際に必要となる要件について学び、コンシェルジュとしての地域への関わり方を考える。 **３．観光資源としての景観（７時限～10時限）** 別府市は温泉資源を利用した健康・癒し・娯楽等の各種サービスの提供によって観光産業が発展してきましたが、別府の景観はそれらの産業やそこで暮らす人々の生活によって形成されています。地域景観の特徴を産業との関係により理解します。	姫野由香（全時間）

１）別府の地域資源や産業の特徴と景観の関係（7時限～8時限）
景観を理解する着眼点と文化的景観について学びます。

⑦⑧観光地の景観
＜重要な着眼点＞地域の景観を理解する上で重要な着眼点を、全国の観光地の景観を事例にあげながら整理し、コンシェルジュとして、観光地の景観を観察する目を養う。
＜文化的景観＞観光資源となり得る景観として、地域の自然資源、風土や生活・生業と関係が深い「文化的景観」について学ぶ。

２）別府の景観の特徴（９時限～10時限）
別府の地形や特徴的な景観を構成する要素について学びます。

⑨⑩別府の景観の特徴や種類
＜地形や特徴的な景観構成要素＞別府の景観の特徴や種類を、地形や特徴的な景観構成要素の見え方から整理
＜景観認知＞別府市民の景観認知の傾向
＜重要文化的景観＞別府の主要な観光地である鉄輪・明礬温泉地域における「重要文化的景観」の特徴について学ぶ。

４．おすすめ風景カルテの作成と活用（11時限～15時限）
コンシェルジュとして、別府のおすすめ景観や観光スポットを探して「おすすめ風景カルテ」を作成します。その作業をとおして地域情報のストックと提供の方法を学びます。

１）おすすめ風景カルテの作成方法の検討と作成（11時限～12時限）
別府のおすすめ景観のデータベースを作成します。

⑪⑫⑬おすすめ風景カルテの作成
＜作成方法について＞カルテの基本的な作成方法を学び、独自の工夫を加えたカルテの改善方法の検討
＜データベース作成＞別府の紹介したい場所を「生活や生業と関係が深い風景」として探しだし、データベースとして「おすすめ風景カルテ」の作成

２）カルテを用いた情報提供の実践（14時限～15時限）
各自が作成した「おすすめ風景カルテ」を用いた観光情報の提供を受講者相互で行い、情報の共有をする。

⑭⑮観光情報の提供
＜情報の相互提供＞各自が作成したカルテの交流
＜カルテの改善方針＞各自のカルテの一層の改善方針の検討や、相互の情報共有
＊作成されたカルテは、コンシェルジュとしての活動開始後にも利用できる地域情報のストックファイルとなります。

授業科目名	必修・選択	単位	学期曜・限	対象者	担当講師名（所属）
温泉学 Balneology （Onsen Studies）	選択 ※コンシェルジュ認定者は必修	2	8月4-7日 集中講義	1年	主担講師：斉藤雅樹 （大分県産業科学技術センター）

【授業のねらい】

温泉は自然科学・医学・社会科学・人文科学など多岐な分野の研究対象でありながら、一般利用者にとっては単に入浴や娯楽の対象に留まることが多くありました。しかし、温泉文化・旅行文化の発達に伴い、より専門的で正確な温泉情報を接客の現場において求められることが増えつつあります。

本授業では、別府という世界的に希少な温泉研究のフィールドを題材に、自然科学、人文科学など多面的な学術的解説により、広範な一定の基礎知識を身につけることを目指します。

【具体的な到達目標】

1．知識・理解

①温泉の自然科学、社会科学の知識における基本的事項を習得できる。(A-①・A-③)

②別府温泉に関する取り組みについて説明できる。(A-⑥)

2．習得する資質・能力等

①別府温泉コンシェルジュとして、温泉の専門的知識をベースに接応できる。(C-⑮、C-⑯)

②科学的な根拠（統計・分析等）に基づいて現象を分析・理解し表現することができる。 (B-④)

【授業の内容】	講　師
1．温泉学の概要、別府の魅力、温泉活用方法を学ぶ。（1時限～2時限） 2．温泉科学を学ぶ。（3時限～4時限） 3．温泉と健康を学ぶ。（5時限～6時限） 4．別府の観光資源とその可能性を学ぶ。（7時限～8時限） 5．別府の地形と地質を学ぶ。（9～10 時限） 6．温泉学フィールドワーク（11 時限～12 時限） 7．別府温泉とツーリズム（13 時限～14 時限） 8．温泉学のまとめ。(15 時限)	由佐悠紀 サンガ・N・カザディ 竹村恵二 宮崎博文 中山昭則 斉藤雅樹(担当)

【時間外学習】

○１５時間以外に、温泉学一般に関する資料を収集し、テーマに沿った研究をすることが必要です。

【教科書】

○特定の教科書は使用しませんが、その都度配布する資料や各自が収集した資料を活用します。

【成績評価の方法と評価割合】

①授業での知識：ペーパーテスト：L1:60点～/L2：70点～/L3:80点～/L4:90点～/L5:95点～

②授業時の課題対応：ミニレポートや学習課題への対応：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

③専門性：学習課題への対応：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

④責任感や積極性等の授業中の態度：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

【注意事項】

○特別な理由以外の欠席は全て減点します。遅刻も減点対象です。

○万一、不慮の場合で欠席した場合は、必ずその授業の補填をしていただきます。

※欠席１回につき３点の減点（３回目の欠席は４点の減点）

②授業の実施に関する注意事項

○後半ではフィールドワークをしますので承知願います。

授業内容

具体的な授業計画	授業者
１．温泉学の概要、別府の魅力、温泉活用方法を学ぶ。（１時限～２時限） 温泉学講座の概要を学ぶとともに、温泉から見た別府の位置づけと特徴、その活用方法を具体的な事例で学びます。 **＜授業ガイダンス・温泉学の意義と必要性＞**15時間の授業概要（シラバス）説明。 温泉は自然科学・医学・社会科学・人文科学など多岐な研究対象であり、温泉文化の発達に伴い、より専門的で正確な温泉情報を接客の現場において求められることが増えつつあり、こうした意義と必要性を学びます。 **＜温泉から見た別府＞** 別府は、自然環境、交通アクセス、食材の豊富さ、温暖な気候など好条件の立地に、世界一位の源泉数、二位の湧出量、10 の泉質を誇る温泉群があります。 **＜温泉の活用方法＞** 砂湯、蒸し湯、泥湯、打たせ湯などの入浴様式、豊富な泉質を活かした組合せ入浴（機能温泉浴)、温泉施設の回遊性誘発の取り組み（温泉道スタンプラリー)、高温の源泉を冷却する竹製装置の開発、近年注目を集める温泉熱発電（湯けむり発電）など、温泉の活用法や産業化の取り組みを学習します。	斉藤雅樹 （大分県産科技センター主幹研究員）
２．温泉科学を学ぶ。（３時限～４時限） 温泉の成り立ちや歴史を、別府を事例として地球科学の面から学びます。 **＜温泉の成り立ち＞** 地球科学的な観点での温泉の成立要件、火山性温泉と非火山性温泉の違い、泉質形成のモデル、大分県・別府の温泉の特徴、温泉資源保護の状況、プレートテクトニクスなどを学びます。 **＜別府温泉の歴史＞** 火山性温泉である別府温泉は、およそ 5 万年前に形成されたと言われ、温度が高く、多種多様な泉質のあることが特徴で、熱と化学成分の素は、鶴見火山群の地下深部に存在する熱水から与えられています。水そのものは雨水を起源とし、別府全域の地下に分布する温泉水は、平均して約 50 年で入れ替わっています。このようなコンシェルジュとして必要とされる基礎的知識を学びます。	由佐悠紀 （京都大学名誉教授）
３．温泉と健康を学ぶ。（５時限～６時限） 温泉療法の歴史と推移や、現制度と効能・効果を学びます。 **＜温泉療法の歴史＞** 我が国の温泉療法は、1876 年、E・ベルツによりドイツ温泉気候医学がもたらされ近代医学として確立されました。近年、温泉の公正な品質表示が問われるようになり、温泉療法の正しい知識の必要性が高まっています。 **＜現制度と効能・効果＞** 我が国の温泉は、環境省「鉱泉分析法指針」により、医療効果が期待できる温泉	宮崎博文 （ＮＰＯ別府温泉地球博物館 常務理事）

に「療養泉」として泉質名が与えられ、禁忌症、適応症が定められ、温泉法に基づき利用者に表示することとされています。効能には、含有成分による効果のほかに、温熱効果、浮力による効果、静水圧による効果などがあります。このようなコンシェルジュとして必要とされる基礎的知識を学びます。	
４．別府の観光資源とその可能性を学ぶ。（７時限～８時限） 温泉から見た別府の位置づけと特徴、その活用方法を具体的な事例で学びます。 **＜別府の観光資源＞** 別府は、海、山、高原などの自然環境に恵まれ、美しい景観が数多く存在します。また、バスガイドの発祥、日本で三番目の高層タワーなど観光文化の先進地でもあります。一方、ＰＲ面は課題も多く、観光資源の乏しい他地域に対して集客で劣る例も見られます。高崎山、アフリカンサファリなどは市外という理由で別府観光ガイドに掲載されないなど、ＰＲ手法には改善すべき点があると言えます。 **＜別府の可能性＞** 世界の観光地に比べて圧倒的に観光資源に恵まれている別府には大きな可能性があります。地理データを整備する、わかりやすく正確な説明を網羅的に用意する、誰でもアクセスできるシステムを作るなど、今すぐできることもたくさんあり、そうした発展の可能性とアイデアを双方向的な議論を通じて学習します。	サンガ・ンゴイ・カザディ （立命館アジア太平洋大学教授）
５．別府の地形と地質を学ぶ。（９時限～10 時限） 別府の地形と地質の特徴と、温泉への影響を地球科学の面から学びます。 **＜別府の地形と地質＞** 別府は、南北方向の海岸、西方に連なる活火山鶴見岳を中心とした山々、それらをつなぐ扇状地で特徴づけられます。扇状地の南側には別府湾から突き出たような高崎山へ続く平坦な山が連なり、扇状地との間は活断層によって限られています。扇状地の北側にも丘陵がひろがり、この境界付近も断層が推定されています。この扇状地の南北に四湯ずつ別府八湯の温泉が広く分布しています。 **＜地形と地質と温泉への影響＞** 別府は世界でも有数の湯のまちです。断層と火山のまちでもあり、これらは密接に関係しています。別府は地下の地熱活動と地表の火山からの堆積物の上に立っており、それらをたくさんの断層が切っているおかげでお湯が湧いたり、水が湧いたりしています。このようなコンシェルジュとして必要とされる基礎的知識を学びます。	竹村恵二 （京都大学教授）
６．温泉学フィールドワーク（11 時限～12 時限） 地球科学的、観光文化的な見地から別府の温泉サイトを訪れて観察します。 **＜フィールドワーク＞** 溝部学園の立地する亀川温泉は別府八湯の一つで、四の湯温泉などの従来からの	竹村恵二 （京都大学教授）

温泉加え明治初期には亀川温泉、亀陽泉などが掘削され発展しました。亀川断層、火砕流起源の凝灰角礫岩の崖、竜巻地獄の間欠泉、奈良時代から赤湯泉で記述される血の池地獄などを訪れ、地球科学的、観光文化的な見地から温泉関連サイトを観察します。	
7．別府温泉とツーリズム（13時限～14時限） 別府の温泉観光地としての発祥、展開、現在の取り組みを学びます。 **＜発祥＞** 別府八湯が温泉観光地としてデビューしたのは、明治初期の大阪航路の開設といえます。明治末には鉄道も開通するとともに都市計画も行われ町は整備され、大正時代には別荘開発が進みました。一方、この頃埋め立て事業も行われ、別府タワーのある現在の北浜温泉の土台が築かれました。 **＜展開＞** 大正から昭和にかけては油屋熊八による地獄めぐりバスの運行と地獄の観光施設化が進みました。さらに、ラクテンチや鶴見園といった大型観光施設も開業や博覧会も開催され黄金期を迎えます。 戦後の昭和20年代には、国際観光都市としての計画も描かれましたが進みませんでした。しかし、高度経済成長期を迎えると団体旅行客が大勢訪れ大型ホテルが開業し“別府温泉”の地位は確固たるものとなりました。 **＜現在の取り組み＞** 今日ではこれまでに築かれたブランド力と観光施設を活用するとともに、ボランティアガイドによる“まち歩き”や温泉の多面的な利用などによる新しい観光も展開しています。 このようなコンシェルジュとして必要とされる基礎的知識を学びます。	中山昭則 （別府大学教授）
8．温泉学のまとめ（15時限） 温泉の自然科学、社会科学の知識における基本的事項や別府温泉に関する取り組みについて、授業のまとめをします。 **＜基本的事項＞** 本授業「温泉学」は、別府という世界的に希少な温泉研究のフィールドを題材に自然科学、人文科学など多面的な学術的解説により、広範な一定の基礎知識を身につけることを目指しています。これまでの学習をもとに、受講生の提案やアイデアを含めて考察するワークショップ形式による「まとめ」を行います。	斉藤雅樹 （大分県産科技センター主幹研究員）
【資料】 「別府温泉地球博物館」ウェブサイトが、本授業内容をカバーする内容です。 http://beppumuseum.jp/index.html	

授業科目名	必修・選択	単位	学期曜・限	対象者	担当講師名（所属）
おもてなし演習	選択 ※コンシェルジュ認定者は必修	2	夏季休業日 集中講義	1年	主担当講師：鶴田浩一郎 （NPO法人ハットウ・オンパク）

【授業のねらい】

コンシェルジュに必要な要件の1つとして、旅行客をおもてなすそれぞれの施設の中の職能別の職務を理解しておくことは、施設のティームワークを作るだけでなく、顧客への総合的な案内をするうえで重要なことです。

本授業では、宿泊施設の職能別の職務について、メンテナンス業務、食事サービス業務、厨房調理等補助業務、フロント業務を実際に体験しながら、それぞれの業務の中でのおもてなしの心遣いを学びます。さらに、その業務がどのように宿泊施設の現場において繋がり、サービスを提供しているのか、さらに提供したいサービスなどを考えながら、コンシェルジュとしてのおもてなしを学びます。

【具体的な到達目標】

1．知識・理解

①宿泊施設の職能別の職務を難易度順に体験し、お客様のニーズに沿ったサービスをしていることなどコンシェルジュとして現場で役立つ基本を理解する。（A-5）

②温泉に関する知識をどのように商品やサービスにしていくかを考え企画する。（B-1）

2．習得する資質・能力等

①接客施設におけるおもてなしの心を持って接客サービスしようとする。（A-4）

②それぞれの職務の多様な価値観を受容し、信頼関係を築き、親和的な態度で接しようとすることができる。（C-1~4）

【授業の内容】	講　師
※宿泊施設で、1日5時限（450分）・6日間の集中したインターンシップ授業です。 1．宿泊施設の職能別の職務をおもてなしの心を学ぶ。（1時限～28時限） 1）メンテナンス業務演習（1時限～7時限） 2）食事サービス業務演習（8時限～14時限） 3）厨房調理等補助業務演習（15時限～22時限） 4）フロント業務演習（23時限～28時限） 2．職場のなかのコンシェルジュの機能と役割を学ぶ。（29時限） 3．コンシェルジュとしての商品サービスの企画。（30時限） ＊ネット販売を前提としてのプランづくり	鶴田浩一郎 （NPO法人ハットウ・オンパク代表理事） 鶴田宏和 （ホテルニューツルタ経営企画室長） 鶴田絢子 （同若女将）

【時間外学習】

○演習中の学びを毎日のレポートとして提出（講師にて各人の課題を設定する）をします。

【教科書】

○ホテルの職務マニュアル（オリジナル）を使います。

【成績評価の方法と評価割合】

① 演習の課題対応：レポートや体験課題への対応：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

② 適性と専門性：各職務での適性：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

③ 責任感や積極性等の演習の態度：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～

【注意事項】

○お客様と接する演習の時は「服装とみだしなみ」の注意規定があります。

○欠席の場合は、演習の補填をしていただきます。

○1日5時限（450分）、6日の集中演習となります。8月上旬の予定です。詳細な日程は後日設定します。

授業内容

具体的な授業計画	授業者
※宿泊施設で、1日5時限（450分）・6日間の集中したインターンシップ授業です。 **１．宿泊施設の職能別の職務をおもてなしの心を学ぶ。（1時限～28時限）** 宿泊施設でのメンテナンス業務、食事サービス業務、厨房調理等業務、フロント業務の４つの業務の体験を通して、それぞれの業務のおもてなしの心を学びます。	
１）メンテナンス業務演習（１時限～7時限） 宿泊施設において重要な業務の１つであるメンテナンス実務をとおして、美しくみせる、美しく見えることの大切さ、おもてなしの心が何に現れるのかを学びます。	鶴田宏和
① 清掃業務体験 授業計画の説明の後に、共用スペース、大浴場、客室等の清掃と実際のメンテナンス体験や、各種設備の機能と役割を研修し、メンテナンス業務のおもてなしの心を学ぶ。 **＜授業ガイダンス＞**15時間の授業概要（シラバス）の説明 **＜ロビーなどの共用スペースメンテナンス実務＞**温泉を使った大浴場のメンテナンスがいかに大変なのか、温泉利用の様々な困難を体験 **＜設備機器類＞**メンテナンスが必要な設備機器類（空調や給排水）などの機能の体験	
２）食事サービス業務演習（８時限～14時限） 旅における食は地域に人を引きつける必要不可欠な素材です。その供しかたを知ることで、人間は単に舌で感じる「味」だけで食事をしているのではないこと、おもてなしの心が何に現れるのかを学びます。	鶴田絢子
⑧～⑭食事サービス業務体験 事前の準備、食事のサービス、事後の片付け等、食事係の業務を体験し、食事サービス業務のおもてなしの心を学ぶ。 **＜五感の食事＞**食事の際も目からの情報=おいそうに見えること、耳からの情報=例えば地元産品であることなど、五感で食べていることが分かる **＜食事サービス業務＞**事前の準備、食事のサービス、事後の片付け、満足度の報告等	
３）厨房調理等業務演習（15時限～22時限） 調理係は当初、「鍋洗い」などから始まる業務であることから、調理の中でどのような役割分担があるのか、おもてなしの心が何に現れるのかを学びます。	鶴田宏和
⑮～㉒調理補助業務体験 和食・洋食の調理業務の補助を体験し、調理業務のおもてなしの心を学ぶ。 **＜厨房の調理補助業務＞**料理の盛りつけなどを、和食と洋食にて振り分けて体験 ＊和食・洋食の調理補助業務・内容；盛りつけ、皿洗い、 **＜調理業務の役割＞**各人のスキルをみながら、その他の調理業務を体験	

４）フロント業務演習（23時限～28時限） ホテルの情報センター機能を持つ、フロント業務は予約時からチェックアウトまでの全てのお客様情報が集まりコントロールする場所です。演習だけではその業務の一部しか体験できないと思いますが、この部署を体験することにより、高度なホテル機能を学びます。この部署がこなせると、サービス業としてトップレベルの人材に育ちます。 **㉓～㉘フロント業務体験** 予約時からチェックアウトまでの全ての業務を体験し、**フロント業務の**おもてなしの心を学ぶ。 **＜フロント業務＞**エントランスでの出迎え、客室までのポーター役、チェックイン業務、チェックアウト業務、クレーム処理、会計処理等。 	鶴田絢子
２．職場のなかのコンシェルジュの機能と役割を学ぶ(29時限) 各職場を体験した後に全体を通したホテル職能、その連携の重要性を整理して、その中のコンシェルのポジションを確認します。 **㉙コンシェルジュのポジション**（職場の中のコンシェルジュ） ＜職場の職務＞各職場に必要な職種、各職種の職務内容や職種の連続性、職種による顧客との繋がりと役割 **＜職場の中のポジション＞**１つの職場の大きな歯車のコンシェルジュの位置づけと役割、各職種との繋がりの必要性	鶴田浩一郎
３．コンシェルジュとしての商品サービスの企画。（30時限）。 各職務を体験することにより、温泉コンシェルジュとして必要な要件が理解できます。その結果、何を提供すればお客様を引きつけられるのかを課題として、ネット販売（宿泊や入浴商品）を前提に商品企画のワークショップを行います。単なる職場体験に留まることなく、課題をもって体験していくことにより、一層コンシェルジュへの理解が深まります。	鶴田浩一郎